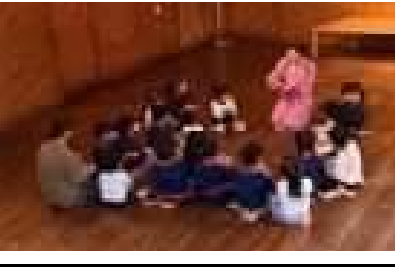


事業活動実績報告書

施 設 名	東江幼稚園
教 育 理 念	「人と関わる力」「しなやかに動かせるからだ」「自然から学ぶ体験」を育てる

1 事業名	からだところを育てるオイリュトミーの時間
2 実施期間	令和 7年 4月 23日 ～ 令和 8年 2月 4日

3	取組概要	（取組日） 令和 7年4月 23日 ～ 令和 年 月 日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 各クラスが25分ずつ交代でオイリュトミーを実施した。実施順は、①いなほ組、②やま組、③そら組、④さくら組とした。活動では輪になって、季節や自然を題材とした手遊びやわらべ歌に親しんだ後、詩や短い物語「カエルの王様」を聞きながら、オイリュトミスの動きやしぐさを模倣し、身体で表現する取組を行った。 	
		（取組日） 令和 7年5月 23日 ～ 令和 年 月 日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 保護者向けのオイリュトミー体験講座を行い、幼児オイリュトミーの経験と、それぞれの動きや音の意味を学ぶ講座を行った。年長児、年中児の保護者のうち、希望者が参加し体験をした。右は終了後の感想の一部。 	
		（取組日） 令和 7年 5月 28日 ～ 令和 年 月 日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年長児・年中児を対象に、4クラスが25分ずつ交代でオイリュトミーを実施した。実施順は①いなほ組、②やま組、③そら組、④さくら組とした。活動では輪になって季節や自然をテーマに取り組み、手遊びやわらべ歌の後、詩や短い物語「カエルの王様」を聞きながら、オイリュトミスの動きを模倣し、身体で表現した。 	
		（取組日） 令和7年 6月 11日 ～ 令和 年 月 日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年長児・年中児を対象に、4クラスが25分ずつ交代でオイリュトミーを実施した。活動では、輪になって季節や自然をテーマとした手遊び、わらべ歌、お手玉遊び等に取り組んだ後、詩や短い物語「カエルの王様」を聞きながら、オイリュトミスの動きを見て模倣し、身体で表現する経験を行った。 	

3	取組概要	(取組日) 令和7年 7月 9日 ～ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年長児・年中児を対象に、4クラスが25分ずつ交代でオイリュトミーを実施した。活動では、輪になって季節や自然をテーマとした手遊び、わらべ歌、お手玉等に取り組んだ後、詩や短い物語「がたがたの竹馬小僧」を聞きながら、オイリュトミスの動きを見て模倣し、身体で表現する経験を行った。 
		(取組日) 令和7年 9月 24日 ～ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年長児・年中児を対象に、4クラスが25分ごとに交代しながらオイリュトミーに取り組んだ。活動では、季節や自然を題材に、輪になって中心へ向かいながら輪を小さくしたり、外へ広がって大きくしたりする動きを取り入れた。あわせて手遊びやわらべ歌を行い、詩や短い物語「がたがたの竹馬小僧」を聞きながら、オイリュトミスの動きを見て模倣し、身体表現を楽しんだ。 
		(取組日) 令和7年10月22日 ～ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年長児・年中児を対象に、①いなほ組、②やま組、③そら組、④さくら組の順で、各クラス25分ずつオイリュトミーを実施した。季節や自然を題材に輪になって身体を動かし、手遊びやわらべ歌に親しんだ後、詩や短い物語「がたがたの竹馬小僧」を聞きながら、講師の動きを見て模倣し、身体で表現する活動に取り組んだ。 
		(取組日) 令和7年11月12日 ～ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年長児・年中児を対象として、①いなほ組、②やま組、③そら組、④さくら組の順に、各クラス25分間のオイリュトミー活動を行った。内容は、季節や自然を題材にした動きを中心に、手遊びやわらべ歌を取り入れて進めた。さらに、詩や短い物語「星の銀貨」に耳を傾け、その世界観に触れながら、講師の示す動きをまねて表現する体験へとつなげた。 
		(取組日) 令和 7年 12月 10日 ～ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年長児・年中児を対象に、①いなほ組、②やま組、③そら組、④さくら組の順で、各クラス25分ずつ活動を行った。輪になって季節や自然を題材とした動きに親しみ、手遊びやわらべ歌を取り入れながら進めた後、詩や短い物語「星の銀貨」を聞き、その内容に合わせたオイリュトミスの動きを見てまねし、身体で表現する経験を重ねた。 
		(取組日) 令和8年 2月 4日 ～ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年長児・年中児を対象に、①いなほ組、②やま組、③そら組、④さくら組の順で、各クラス25分間のオイリュトミーを実施した。活動では、輪になって季節や自然を題材とした動きに親しんだ後、手遊びやわらべ歌を取り入れて進めた。さらに、年長児一人一人の名前を呼び、その響きに合わせた講師が示す動きを、園児全員で模倣しながら身体表現を楽しむ取組を行った。 

効果検証報告書(継続事業用)

施 設 名		東江幼稚園				
教 育 理 念		「人と関わる力」「しなやかに動かせるからだ」「自然から学ぶ体験」を育てる				

計 画 時	事業の区分(5領域)		幼稚園教育要領に示された5領域に該当するもの(複数可。最も当てはまるものには◎を選択してください)						
			健康	○	人間関係	環境	言葉	表現	◎
	1 事業名		からだところを育てるオイリュトミーの時間						
	2 事業概要		シュタイナー教育に基づく「オイリュトミー」をおこない、からだの分野の成長に働きかける						
	3 対象学級(クラス名) 対象人数		年長児・年中児(クラス名:やま組、そら組、さくら組、いなほ組)			72 名			
計 画 時	4 実施体制		取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況						
			園のホールにおいて年9回程度 1クラス毎の「オイリュトミー」の時間をもうける。ドイツ留学をして、専門の資格をもったオイリュトミストが講師として子どもたちに指導する。						
計 画 時	事業後	4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等						
			本事業の実施により、子どもたちの身体的な表現力や感受性の向上、自己表現する力や他者と動きを合わせる協調性の育成といった効果が見られたものと考えられる。あわせて、集中して活動に取り組む姿勢やリズム感の育ちも認められ、一人一人の成長につながったことがうかがえる。また、感情を身体で表す経験を重ねる中で、情緒面の安定にも一定の効果があつたと推測される。一方で、活動内容を難しく感じる子どもも一部に見られたことから、今後は発達や理解の状況に応じた個別対応をより充実させることが課題である。						
計 画 時	5 事業のねらい		シュタイナー教育に基づく「オイリュトミー」をおこない、からだ育ての分野に働きかける。体を自由に動かせるだけでなく、感覚を磨いて感性を深めるような活動を行う。オイリュトミーとは「調和したリズム」という意味で言葉や音楽の響きを形として表現する「目に見えるうた」であり、「目に見える言葉」とも言われています。言葉を楽しみ音のリズムを動きを通して感じる、運動芸術です。講師の動きを模倣する身体の動きと共に、詩やわらべ歌や童話を聞き、その物語を体験したかのように味わう、心が動く活動をする。						
	事業後	5についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等						
計 画 時			本事業では、シュタイナー教育に基づくオイリュトミーを通して、子どもたちの身体の動きだけでなく、感性や心の働きにも働きかけることができた。詩やわらべ歌、童話に親しみながら身体で表現する経験を重ねることで、音や言葉の響きを感じ取る力、集中して取り組む姿勢、想像力や表現力の育ちが見られた。今後も継続することで、より豊かな感受性や自己表現の力の伸長が期待される。						
	6 取組の内容		計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等						
計 画 時			月に1回 各クラス18名程度が25分 シュタイナー教育の本場ドイツで学んできた講師「オイリュトミスト」から担任教諭とともに指導を受ける。講師が歌や詩(ことば)を口にしながら、身体で表現(踊る)するので、それを子どもたちが見聞きしながら、模倣して身体を動かす。						
			上記のうち、幼稚園教育要領に示された「内容」について、各園で積み重ねてきた取組を発展させた点						
			オイリュトミーを通して「音楽表現」「身体表現」の豊かさを引き出し、子どもたちの感性や想像力を養う。						
			(継続事業のみ記入)前年度の取組から発展させた点						
		保護者へのオイリュトミー体験講座を行う。オイリュトミーを通じて、園児が体を動かす喜びを知り、心身の調和を育む。さらに、保護者にもその指導方法を伝えることで、家庭でも実践できるようにし、園児の学びの場を家庭に広げる。							

計画時	事業後	6についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 本事業の実施により、子どもたちは講師の動きや言葉、歌を見聞きしながら身体を動かす経験を重ね、音やことばを身体で受け止めて表現する力を育むことができた。活動を通して、集中して取り組む姿勢や模倣する力、想像をふくらませながら表現する姿が見られ、感性や身体表現の広がりがうかがえた。また、保護者体験講座を実施したことで、園での学びを家庭でも共有しやすくなり、継続的な関わりへつなげる基盤づくりにもなった。
		7 環境構成例	幼稚園ホールにおいて、ほどよく暗く落ち着いた照明の下で、20人程度の園児が担任教諭と共に、オイリュミストから指導を受ける。
計画時	事業後	7についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 幼稚園ホールにおいて、落ち着いた照明環境のもとで活動を行うことで、園児が気持ちを整えて集中しやすい状況をつくることができた。静かな空間の中で、講師の動きや詩、歌に意識を向けながら模倣や身体表現に取り組む姿が見られ、感覚や感性を深める機会となった。また、ことばや音の響き、表現の意味を感じ取ろうとする姿勢も育まれた。
		8 期待される効果 児童の姿	取組を通じて期待される児童の姿や効果等 オイリュミーを通して体と心が健やかに成長する事をねらいとしている。 期待される効果、姿は、 - 身体の発達：音楽のリズムに合わせて動くことで、バランス感覚や協調性が向上する。 - 集中力の向上：音楽や言葉に意識を向けながら動くことで、注意力が高まる。 園児の姿 - 楽しみながら動く：音楽に合わせて自然に体を動かし、リズムを感じる。 - 仲間と協力する：集団での動きを通じて、他者との調和を学ぶ。
	事業後	8についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 本事業は、オイリュミーを通して体と心が健やかに成長することをねらいとして実施した。言葉や音楽のリズムに合わせて身体を動かす活動を重ねる中で、子どもたちは楽しみながら自然に体を動かし、リズムを感じ取る姿を見せた。また、バランス感覚や協調性の育ちに加え、音楽や言葉に意識を向けて動くことで集中力や注意力の向上も見られた。さらに、集団での活動を通して仲間と協力し、他者との調和を学ぶ姿も育まれており、自己表現の力や情緒の安定、社会性の発達にもつながる取組となった。
		9 効果検証総括	事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて 本事業では、シュタイナー教育に基づくオイリュミーを継続的に実施することにより、年中児・年長児の身体的な表現力、感受性、集中力、協調性の育ちに一定の成果が見られた。専門性の高い講師の指導のもと、子どもたちは詩やわらべ歌、童話を聞きながら身体を動かし、音やことばの響きを感じ取って表現する経験を重ねることができた。特に、日本のわらべ歌や昔話を取り入れた実践により、日本文化に根差した表現活動として深まりが見られ、心身の調和や自己表現の力の育成にもつながった。今後は継続的な実施に加え、発達や理解の状況に応じた個別の関わりをより丁寧に行うことで、さらなる効果の向上が期待される。

※必要に応じて、別紙の添付やイラストの活用などにより事業説明を補足しても構いません(別紙は任意様式)。

※幼保連携型認定こども園教育・保育要領における教育のねらいや内容等については、幼稚園教育要領の5領域から構成されていることを踏まえ、本事業では「幼稚園教育要領」とのみ記載しています。